

目次

1. 本システムの提供ファイル	2
2. データの管理について(事業所との関係)	3
3. データベースエンジンの選択	4
4. リッチクライアントプログラムの特徴および注意事項	
(1) クライアント側に専用ソフトは不要	5
(2) フォームはすべて Magic で作成	5
(3) 色・フォントファイルはそのまま、キー割付も有効	5
(4) 印刷は PDF や ReportsMagic	6
(5) バッチタスクについて	6
(6) RM 互換(レコードメイン互換)は不可	6
(7) ファントムタスクは不可	6
(8) 遅延トランザクションモードを使用	7
(9) 使用できない関数がある	7
(10) オンラインタスクと動きが違う部分がある	8
(11) オンラインタスクのようなレコードロックの概念はない	9
(12) パフォーマンスに関する注意点	9
5. テクニック集	
(1) PDF 出力の方法	10
【PDF 出力に関して】	11
(2) ReportsMagic 出力の方法	13
(3) CSV 出力の方法	14
(4) 伝票データの連続入力	14
(5) 画面の拡張機能	15
(6) フォーム状態の維持	15
(7) エクセル風/左項目固定画面	16
(8) ファイルのダウンロード	17
(9) ファイルのアップロード	17
(10) メール送信	17
(11) グラフ表示	18
6. 伝票入力プログラムの概要	21
7. プログラム解説	22
付録1. モデル一覧・テーブル一覧・プログラム一覧	
モデル一覧	31
テーブル一覧	35
プログラム一覧	40
付録2. ReportsMagic ファイル名一覧	51
付録3. モバイルプログラムについて	52

第1章 本システムの提供ファイル

本システムで提供されているファイルを、フォルダーごとに紹介します。

フォルダー名	ファイル名	内 容
C:\¥WitHanbai40	WitHanbai40.edp	本システムのプロジェクトファイル
C:\¥WitHanbai40¥DAT	*.DAT のファイル	Pervasive 用データファイル(最初はサンプルデータが入っています) 見積データ、受注データ、売上データ、発注データ、仕入データなど
C:\¥WitHanbai40¥DDF	(空)	PowerPivot 機能を利用する際に使用(Pervasive 用)
C:\¥WitHanbai40¥ENV	act_wit.jpn clr_wit.jpn fnt_wit.jpn prn_wit.jpn	キーボード割付ファイル 色定義ファイル フォント定義ファイル プリンタ属性ファイル
C:\¥WitHanbai40¥Exports	(空)	
C:\¥WitHanbai40¥Images	*.png、*.jpg ファイル	アイコンおよびロゴ等のイメージファイル
C:\¥WitHanbai40¥MAS	*_M.DAT のファイル	Pervasive 用基本マスタファイル(最初はサンプルデータが入っています) 得意先マスタ、仕入先マスタ、商品マスタ、担当者マスタなど
C:\¥WitHanbai40¥MST	*_M.DAT のファイル	Pervasive 用補助マスタファイル(最初はサンプルデータが入っています) 事業所マスタ、分類マスタ、区分マスタ、摘要マスタ、ユーザマスタなど
C:\¥WitHanbai40¥RM	*.rfr のファイル RMViewerCtrl.ocx RMCompSec*.dll *.bmp	ReportsMagic 用フォームファイル ReportsMagic 用ビューワー(実行モジュール) " 帳票に印刷する印面ファイル(本番稼動時には自分で作成したイメージファイルをコピーします)
C:\¥WitHanbai40¥Source Pervasive データ辞書フォルダー SQLServer データ辞書フォルダー	*.xml のファイル Data*.xml のファイル Data*.xml のファイル	プログラム等のソースファイル Pervasive 用のデータソースファイル SQLServer 用のデータソースファイル
C:\¥WitHanbai40¥TMP DEMO フォルダー	(空) *.TXT のファイル	システムで使用する一時的なフォルダー デモデータの元となるテキストファイル
C:\¥WitHanbai40¥原本 MST	*_M.TXT のファイル	補助マスタファイルの元となるテキストファイル

※ PowerPivot とは Microsoft Excel 2010 用のアドイン機能であり、BI ツールとして活用できます。